ひさかたの光ののどけき
春の日にしづ心なく
花の散るらむ

中一二三

つき返し

こんなにも日の光が降りそそいでいるのどかな春の日であるのに
どうして落着いた心もなく、花は散っていくのだろうか。
（百人一首　三三番　紀友則）